

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
芸術	音楽Ⅱ	3	2	MOUSA 2（教育芸術社）	なし（適宜、楽譜やプリントを使用）

1 科目の目標と評価の観点

目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽・音楽文化と深くかかわる資質や能力を育成することを目指す。				
評価の 観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関り及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。		個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことが出来るようにする。		主体的・協働的に音楽の諸活動に取組み、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
1、実技レッスン（ピアノ）	1 学期 （ 2 8 ）	音大受験対策講座として、本番を想定した演習を重ねる中で、演奏表現や楽典理論の実力をつける。	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽演奏する為に必要な技能を身につける。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことが出来るようにする。	音楽性豊かな表現を迫及する態度を養う。
2、実技レッスン（声楽）			楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽演奏する為に必要な技能を身につける。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことが出来るようにする。	音楽性豊かな表現を迫及する態度を養う。
3、実技レッスン（ソルフェージュ・新曲視唱・聴音）			視唱、試奏及び聴音に関する知識や技能を身につけるようにする。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。
4、楽典（理論）			音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身につけるようにする。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。
実技テスト	2				
1、実技レッスン（ピアノ）	2 学期 （ 3 8 ）	音大受験対策講座として、本番を想定した演習を重ねる中で、演奏表現や楽典理論の実力をつける。 課題曲発表後は、特にそれらを中心に演習を重ねていく。	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽演奏する為に必要な技能を身につける。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことが出来るようにする。	音楽性豊かな表現を迫及する態度を養う。
2、実技レッスン（声楽）			楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽演奏する為に必要な技能を身につける。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことが出来るようにする。	音楽性豊かな表現を迫及する態度を養う。
3、実技レッスン（ソルフェージュ・新曲視唱・聴音）			視唱、試奏及び聴音に関する知識や技能を身につけるようにする。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。
4、楽典（理論）			音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身につけるようにする。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。
本番直前対策		本番に近い形式や時間設定で模擬実技試験を行い、場慣れする。	音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身につける。	専門的な知識や技能を総合的に働かせ、表現内容を解釈したり文化的価値などについて考えたりしながら、表現意図を明確に持つ。	主体的に音楽に関する専門的な学習に取組み、感性を磨き、音楽文化の継承・発展・創造に寄与する態度を養う。
実技テスト	2				
	3 学期	大学入試準備			